

発行日 : 2006-05-19
改訂日 : 2018-10-02

SDS番号 : NCW 0002 R - 03 WD JP
版番号 : 05

1. 化学品及び会社情報

製品名 Canon Glue-A1 / Canon Glue-A2
製品コード 1093B001 / 1093B002
供給者の会社名称 キヤノンマーケティングジャパン株式会社
住所 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6
担当部門 製品安全推進担当
電話番号 03-6719-9729
製造者 キヤノン株式会社
〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2
推奨用途及び使用上の制限 ホットメルト接着剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類されない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル なし
注意喚起語 なし
危険有害性情報 なし
注意書き なし

他の危険有害性 なし

3. 組成及び成分情報

単一製品又は混合物の区分 混合物

成分

化学名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
エチレン/酢酸ビニル共重合体	35 - 55	CBI	6-6	24937-78-8
粘着付与樹脂	30 - 50	CBI	CBI	CBI
パラフィンワックス	10 - 20	CBI	8-414	8002-74-2
酸化防止剤	0 - 2	CBI	3-1693	6683-19-8

CBI: 営業秘密

4. 応急措置

吸入した場合	異常を感じた場合は直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	石鹼を使い水で洗うこと。加熱熔融状態の製品が皮膚に付着した場合は、直ちに水で15分ほど冷却し、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	すぐに多量の水で洗浄すること。刺激が残る場合は、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	口の中を水で洗い直ちに医師の診察を受ける。無理に吐き出させないこと。
最も重要な徴候症状	
吸入	蒸気は、鼻、のどを刺激するおそれがある。
皮膚	皮膚に対する刺激性、感受性は予測されない。
眼	蒸気は、眼を刺激するおそれがある。
経口	情報なし
慢性影響	情報なし
応急措置をする者の保護	なし

5. 火災時の措置

消火剤	二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤を使用する
使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	大規模な火災の場合は、水を散布すると飛び散る場合があるので泡消火剤などを使用する。
消火を行う者の保護	必要に応じ、適切な保護具（手袋、マスク、ゴーグルなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用する
環境に対する注意事項	下水や地表水、地下水へ流さない
封じ込め及び浄化の方法及び機材	付近に着火源があれば速やかに取り除く。漏出物は適切な道具を用いて空容器などに回収する。もし熔融物が漏出した場合は、冷却後、空容器などに回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策** 換気のよいところで取り扱う。必要に応じ適切な保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項** 換気の良い場所で取り扱う。
眼、皮膚または衣類につけない。
取り扱い後は手洗い、うがいを十分に行う。
溶融物に接近する場合は、火傷防止のため手袋、長袖作業衣、保護眼鏡等を着用する。必要により、防毒マスク、または送気マスクなどの吸引防止措置を行う。

保管

- 安全な保管条件** 高温多湿をさける。
温度が40℃以下で日光を遮断に場所を決めて保管する。
使用後は密封する。施錠して保管する。
- 安全な容器包装材料** ポリ袋に入れ、それを紙袋や段ボール等の密閉式紙容器に入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

製品

製品名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
ホットメルト接着剤	設定なし	設定なし	設定なし

成分

化学名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
パラフィンワックス	設定なし	設定なし	TWA=2.0 mg/m ³ (fume)

- 設備対策** 通常の取扱いにおいては、特別な換気設備は不要。

保護具

- 呼吸用保護具** 必要に応じて呼吸系保護具を着用
- 手の保護具** 必要に応じて手袋着用
- 眼の保護具** 必要に応じて保護眼鏡着用
- 皮膚及び身体の保護具** 必要に応じて長袖作業衣、手袋着用

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色)	薄黄色, ドロップ状
臭い	わずかに樹脂臭
臭いのしきい (閾) 値	データなし
pH	適用外
融点・凝固点 (°C)	データなし (軟化点: 74-84°C)
沸点、初留点及び沸騰範囲 (°C)	データなし
引火点 (°C)	>220°C (セタ密閉式)
蒸発速度	データなし
燃焼性 (固体、気体)	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重 (密度)	約 1.0 (20°C)
溶解度	
水溶性	不溶
脂溶性	難溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度 (°C)	データなし
分解温度 (°C)	データなし
粘度 (粘性率) (mPa s)	3200-4800 (140°C)
その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	なし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	反応性なし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	酸化性物質, その他一般的な混触禁止物質との混触を避ける。
危険有害な分解生成物	燃焼などによりCO等の有害ガスを発生するおそれがある。

1 1. 有害性情報

急性毒性	経口 : LD50 > 2,000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激性 : なし (当該製品の抽出液で試験を実施)
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性 : なし (当該製品の抽出液で試験を実施)
生殖細胞変異原性	Ames Test (サルモネラ菌, 大腸菌) : 陰性
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
その他の情報	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄は地域、国や地方自治体の適切な法律や条例に従って廃棄する。廃棄物は廃プラスチックに分類される。

14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
特別な注意事項	転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
MARPOL	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物／通知対象物	固形パラフィン(政令番号170号) 10-20wt% ただし、運搬中および貯蔵中に固形物であるため表示義務の適用除外となる
化学物質排出把握管理促進法(化管法) 第一種／第二種指定化学物質	該当しない
毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物	該当しない
消防法 危険物及び指定可燃物	可燃性固体類(指定数量：3,000Kg)

16. その他の情報

参照規格

本安全データシート(SDS)は、JIS Z 7253:2012(GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS))に準じたものである。

また、GHS分類はJIS Z 7252:2014(GHSに基づく化学品の分類方法)に従っている。

引用文献

- 労働安全衛生法 管理濃度
- 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- 米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- 世界保健機構(WHO) 国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語

- 化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法：労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法（化管法）：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values（米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- TWA: Time Weighted Average（時間加重平均）
- STEL: Short Term Exposure Limit（短時間暴露限界値）
- IARC: International Agency for Research on Cancer（国際がん研究機関）
- JIS: Japanese Industrial Standards（日本工業規格）
- CBI: Confidential Business Information（営業秘密）

本SDSは、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本SDSは、その記載内容を保証するものではありません。